



玉珠

香美町立香住小学校だより

令和2年8月21日(金)号

〈校訓〉 至誠・剛健・協同

歴史を振り返れば・・・

125年に及ぶ永きに渡って重ねてきた本校の歴史の中でも、「8月7日の第1学期終業式」と「8月17日の第2学期始業式」は、最も遅い、一方で最も早い記録として残るであろうと、疑うことなく思っており、今週初めの始業式でも、子どもたちに「誰も経験したことのない・・・」と話しました。

新型コロナウイルス感染症の新たな拡大の状況と関連の報道が連日メディアを賑わす中で、今晩夏は「戦後75年」という節目を迎える年(※1)であります。各新聞社も「戦後75年」を一つのキャッチとして、決して風化させてはならない事実と歴史を次代に継承すべく、語り部の言霊を綴り、新たに発見されたり、開示されたりした歴史の数々を報じていました。

※1 サンフランシスコ講和条約に日本を含めた各国が調印した9月8日が国際条約上の「終戦の日」となるため、実際には、これから「戦後75年のその日」を迎えることとなります。

先の大戦の苛烈さから想像するに、香住にあっても住民の生活の大変さは想像に難くありません。ふとそのようなことが頭をよぎり、もはや!と思ひ「学校沿革誌」を調べてみました。予想どおりでした。日本国内では昭和20年8月15日の所謂「玉音放送」によって「終戦」と考えることが多いため、「戦中動乱の最後の8月から9月」は昭和20年ではなく、昭和19年となります。昭和19年の本校の第1学期終業式は「8月11日」。これが最も遅い記録です。この年の第2学期始業式は「8月21日」と記載されていました。時勢切迫する中、小学校においても学校での学習時間(授業)の確保のための措置であろうと推測(※2)されます。

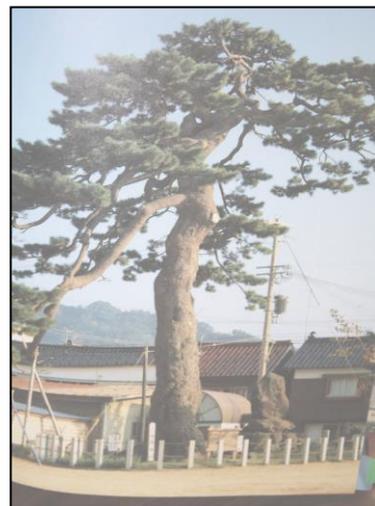
※2 戦時中であった昭和19年度の沿革誌には「校地増産園化計画実施」「全校鍛錬行軍」という行事名や、「軍人援護教育成績優良につき軍事保護院総裁より表彰状を受ける」という記録からも、学習以外の学校活動を行うために夏季休業が短縮されたことも推測できます。

子どもたちの学習を守り、支える取組はいつの時代にも行われてきたことを、あらためて感じました。因みに、昭和19年の夏季休業日は今年と同じ「9日間」。これもまた何かの「縁(えにし)」でしょうか・・・。

何はともあれ、新学期のスタートから1週間を過ぎました・・・

短期間であったとは言え、夏季休業期間においては、保護者、ご家族、そして地域住民の皆様方には、児童の健康と安全・安心のために、それぞれのお立場で、それぞれの役割を果たしていただいたものと拝察いたします。あらためまして、お礼申し上げます。おかげさまで、休業中を含め本日まで、交通、水難の事故等の報告はありません。振り返れば、6月1日の学校再開日は欠席児童0名でのスタートでした。2学期初日は体調のことや家事のことで5名の欠席がありましたが、新学期4日目の昨日は欠席者0名の日を迎えることができました。

コロナ禍が、人から奪っていったものばかりに眼を向けがちではありますが、逆に、私達に、思い出させてくれたり、気づかせ



てくれたりした、「日常」や「当たり前」と考えていたことへの見直しや感謝のこころは、忘れずにいたいものです。保護者、ご家族、地域の皆様の子どもたちへのまなざしと愛惜の中で、無事に夏季休業が終えられたことに、あらためて感謝申し上げます。ありがとうございました。

もう一つ、コロナ禍の中で・・・

新型コロナウイルス感染症対策によるものと思われる、学校や子どもたちの健康にも影響があるかもしれない話題です。皆様は「三大夏風邪」という言葉を聞いたことがありますか？

夏に子どもを中心として流行し、よく学校を介して感染が広がるとも言われる、新型コロナウイルス感染症と同じウイルス性の疾患である「手足口病」と「ヘルパンギーナ」、そして「咽頭結膜熱（プール熱）」の3つの感染症、これを「三大夏風邪」と呼ぶのだそうです。

この三大夏風邪が、今年の夏は流行の兆しがいずれも見られないとのこと。同じウイルス性の感染症ですから、予防対策も概ね同じなのだそうで、新型コロナウイルス対策としての「三密の回避」「マスクの着用」「ソーシャルディスタンスの保持」「手指消毒やこまめな換気」「共用品の回避」など、新しい生活様式の定着によって、自ずと予防対策に取り組んできた成果ということなのでしょう。

晩夏から初秋へと確実に季節は動いていますが、まだまだ暑さ厳しい中での学校生活を余儀なくされる子どもたちの健康と安全にとってはありがたい話です。

(注)「三大夏風邪」といわれる感染症は、新型コロナウイルス感染症と同様に飛沫によって感染していきますが、接触感染や経口感染という感染経路があることも特徴です。

たくさんのご支援、ありがとうございます…

1学期末の7月29日、株式会社但馬銀行様の「次世代創生型私募債」(※3)による寄贈品の贈呈式が行われました。当日、学校からは、感染症予防の関係から児童会役員4名が代表として出席し、私募債の発行企業である香住鶴株式会社様、取扱行である株式会社但馬銀行様から、体育館ステージに常設する「掛図大型スクリーン」の目録を受け取りました。子どもたちの学習活動をはじめ、行事等の教育活動で大切に活用させていただきます。



また、1学期中には老人会の皆様からたくさん雑巾をいただいています。毎年寄贈いただいています。感染症予防対策で毎日の消毒作業がある今年は、例年以上に有難い贈り物でした。

そして、子どもたちの安全のため、毎日の登下校の見守りにご協力をいただいている見守り隊の皆様には厚くお礼申し上げます。今学期も8月17日の始業日から、再び活動を再開いただいています。朝夕ともまだまだ暑さ厳しい時節です。隊員の皆様にはご自身も熱中症予防対策を含め十分にご自愛の上、引き続きのご支援を心からお願い申し上げます。

1学期末から2学期開始までに人事の異動がありましたので、以下にお伝えいたします。

【転出等教職員】

小林 靖典 先生(スクールアシスタント) 免塚小へ

ありがとうございました。

【転入教職員】

三上 薫 先生(スクールサポートスタッフ) 採用
寺川 明美 先生(介助員) 採用

よろしくお願いいいたします。